

りに和國の財を外國へ費しとられざる、一つの助たるべし、然ば力を用ひ、是を世にひろめたらむ人は、誠に永く我國の富を致す人ならんかし、是を種る法は、農政全書等に委し、いまだ其たねさへ此國になき物なれば、今こゝに略す、

〔書言字考節用集〕六生植六甘蔗カシヤ本草三四尺似扶疎四垂取汁爲沙糖長甘蔗アウワラ俗云沙糖蔗並同サタウキビ甘蔗サタウキ

〔和漢三才圖會〕九十甘蔗果かんじゆ甘蔗

〔重修本草綱目啓蒙〕二十甘蔗 サトウキビ サトウノキ サトウグサ サトウダケ 一名

瑤池絳節事物 蔗草同上 黃金類事物 諸蔗通雅 甘蔗同上 肝糖同上 干蔗汝南

甘蔗正字 諸柘文選 杖蔗福州 自然汁一名蜜汁 銷醉同上

甘蔗、品類多シ、享保年中琉球ノ産薩州ヨリ來リ、今諸國ニ多ク栽ユル者ハ荻蔗ナリ、苗形荻ニ似タリ、故ニヲギ様アノサトウキビト呼ブ、形狀蜀黍ノ如クニシテ、葉微狹シ、苗高サ丈餘ニシテ葉互生ス、其莖大ニシテ竹ノ如シ、皮堅ク穰柔ニシテ、蜀黍稭ノ如シ、本ハ節蜜ニシテ、梢ニ至リ漸ク長シ、此草ハ葉ノミニニシテ、花實ヲ生セズ、十月已後根ヲ去リ、莖ヲ收メ、土窖ノ中ニ藏メ、寒ヲ避ク、三月ニ至テ採リ出シ、節ヲ中ニシテ切り、陽地ニ栽ユレバ、節ゴトニ兩芽ヲ生ズ、稍長ジテ壯ナル芽ヲ殘シ、餘ハ除キ去ル、夏ニ至レバ旁ヨリ數莖叢生ス、冬ニ至リ莖ノ能ク熟スル者ヲ搾リテ、黑沙糖トス、コノ蔗ヲ糖蔗天工ト云、又飴蔗國部トモ云、一種莖熟シテ生食スベクシテ、搾リテ沙糖ニナラザルアリ、是岷嶠蔗ナリ、是ヲ果蔗天工ト云、又食蔗國部トモ云フ、世説ニ顧凱之漸入佳境ト云ル者是ナル、本ハ甘シテ梢ハ淡シ、故ニ顧凱之梢ヨリ食セシ故、漸ク佳境ニ入ルト云フ、蔗ノ品類ハ天工開物ニ詳ナリ、

〔物類品鑑〕六甘蔗培養并製造法○中

擇地之法